

# 地域景況レポート

2024年「令和6年度第3期(10月～12月期)」

## とっかけ

“地元有志が作り上げる  
新しい桜の名所”

### 遠野千本桜公園



遠野興産・久保作工場周辺の「遠野千本桜公園」。枝垂桜などが植栽されている

遠野興産(株)久保作工場周辺などを「公園」として、カンヒザクラ、河津桜、枝垂桜、染井吉野など1,000本以上の桜を見ることができ、いわき市の新たな桜の名所となっています。

春には「遠野千本桜公園さくら祭り」が開催されています。

東日本大震災から5年、いわき市市制施行50周年の節目の2016(平成28)年に遠野町を桜の花でいっぱいにして、次世代に「花の里」として残すことで、地域の振興と活性化を図ることを目的に、住民有志が私財を投じて桜を購入して植栽されたことが始まりで、「遠野千本桜公園をつくる会」が発足されました。オーナー制を採用しており、現在500以上の個人団体が参加し、植栽・管理をされています。

### 目次

- 表紙 “地元有志が作り上げる新しい桜の名所”  
1～5 中小企業景気動向調査の集計結果  
特別調査「2025年(令和7年)の経営見通し」  
6 企業紹介「(株)荒川材木店」  
7 市内の観光歴史めぐり：國魂神社の梵鐘／向日葵



街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫



# 中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400社]  
 [回答企業数 395社]  
 [回収率 99.0%]

景気動向調査回答企業

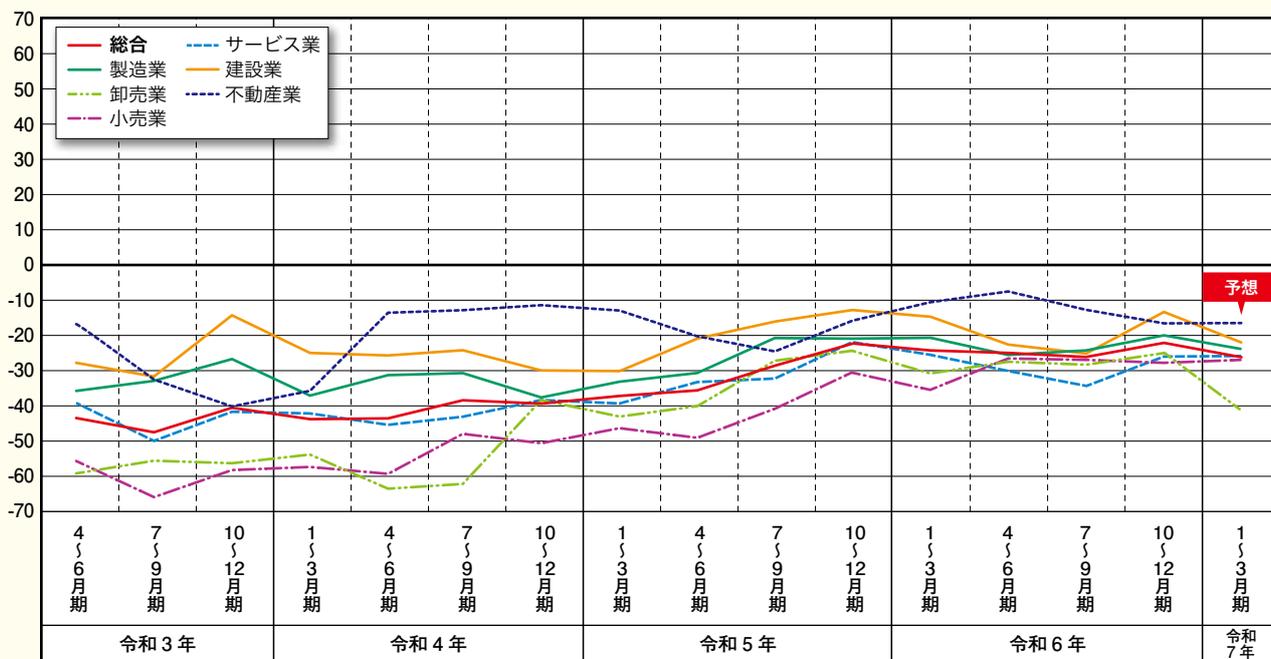
(先)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)	29	15	46	31	25	10	156
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	30	13	37	26	27	9	142
勿来方部 (楯田・錦・勿来・中岡支店の地域)	21	4	30	21	16	5	97
<b>合計</b>	<b>80</b>	<b>32</b>	<b>113</b>	<b>78</b>	<b>68</b>	<b>24</b>	<b>395</b>

## 概況

いわき市全域の業況は、4期振りに改善したものの、先行きについては悪化する見込み

令和6年10月～12月期の自企業の業況DIを前回調査（令和6年7月～9月期）と比較すると、いわき市全域で「悪化」超22.3%と4.5ポイント悪化超幅が縮小し、4期振りに改善した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を25.0%とみていたので、予想よりも2.7ポイント悪化超幅が縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超10.3%と15.7ポイント悪化超幅が縮小した。小名浜・常磐方部は「悪化」超28.9%と0.7ポイント悪化超幅が縮小した。一方、勿来方部は「悪化」超32.0%と7.8ポイント悪化超幅が拡大した。先行き（令和7年1月～3月期）は、勿来方部は「悪化」超26.0%と悪化超幅の縮小が見込まれているが、いわき市全域では「悪化」超25.9%と悪化超幅の拡大が見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値で、「とっかけ」の指標はDI値を使用しています。

## 業種別業況

複数業種で改善が見られ業種全体で改善。先行きは製造業、卸売業、建設業が悪化し、業種全体で悪化する見通し

前回調査（令和6年7月～9月期）と今回調査（令和6年10月～12月期）を業種別にみると、製造業は「悪化」超20.0%と悪化超幅が4.1ポイント縮小、卸売業は「悪化」超25.0%と悪化超幅が3.1ポイント縮小、サービス業は「悪化」超25.6%と悪化超幅が8.6ポイント縮小、建設業も「悪化」超13.2%と悪化超幅が11.8ポイント縮小した。一方、小売業は「悪化」超27.4%と悪化超幅が0.2ポイント拡大、不動産業は「悪化」超16.7%と4.2ポイント拡大した。

先行き（令和7年1月～3月期）は、製造業、卸売業、建設業は悪化超幅が拡大となる一方、小売業、サービス業、不動産業で悪化超幅が横ばいになることから、業種全体では、「悪化」超25.9%と悪化超幅の拡大が見込まれている。

### 業種別の業況

( ) は前回調査時の今期予想 [単位:%]

業種別	令和6年7月～9月期	令和6年10月～12月期	令和7年1月～3月期(予想)
総合	▲26.8	▲22.3(▲25.0)	▲25.9
製造業	▲24.1	▲20.0(▲22.8)	▲24.1
卸売業	▲28.1	▲25.0(▲25.0)	▲40.6
小売業	▲27.2	▲27.4(▲28.9)	▲27.4
サービス業	▲34.2	▲25.6(▲26.6)	▲25.6
建設業	▲25.0	▲13.2(▲22.1)	▲22.1
不動産業	▲12.5	▲16.7(▲16.7)	▲16.7

### 地域別の業況 [方部別の推移]

[単位:%]

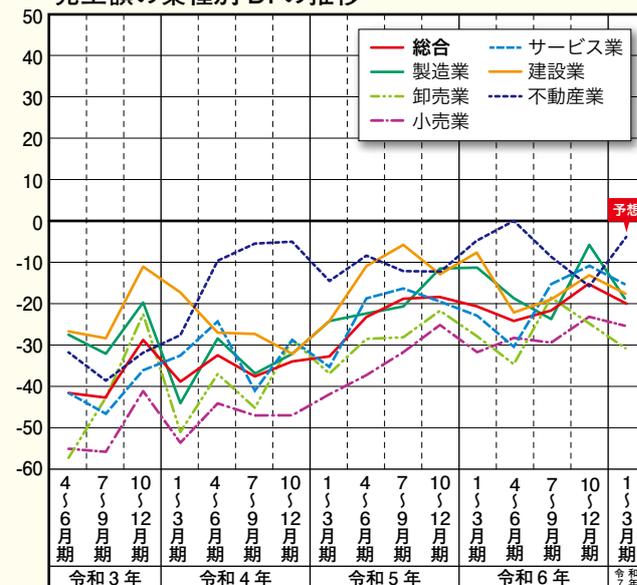
方部別	令和6年7月～9月期	令和6年10月～12月期	令和7年1月～3月期(予想)
いわき市全域	▲26.8	▲22.3	▲25.9
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲26.0	▲10.3	▲20.5
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲29.6	▲28.9	▲31.7
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲24.2	▲32.0	▲26.0

※▲は「悪化」超

### ▶▶ 売上額

売上額は、前回調査（令和6年7月～9月期）の「減少」超21.7%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「減少」超15.2%と6.5ポイント減少超幅が縮小した。また、先行き（令和7年1月～3月期）は、「減少」超20.0%と売上額の減少を見込まれている企業がやや増加している。

売上額の業種別 DI の推移



### ▶▶ 受注残

製造業における受注残は、前回調査（令和6年7月～9月期）の「減少」超21.5%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「減少」超10.0%と11.5ポイント減少超幅が縮小した。先行き（令和7年1月～3月期）は、「減少」超12.5%と受注残の減少を見込まれている企業が増加している。

建設業における受注残は、前回調査（令和6年7月～9月期）の「減少」超17.6%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「減少」超8.8%と8.8ポイント減少超幅が縮小した。

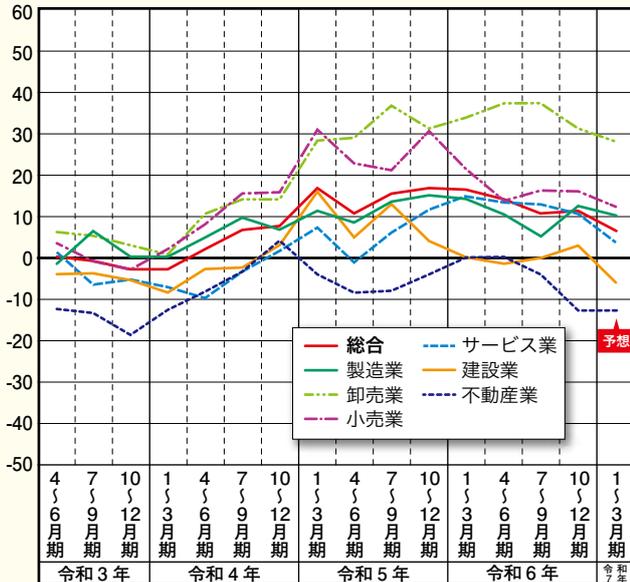
先行き（令和7年1月～3月期）は、「減少」超14.7%と受注残の減少を見込まれている企業が増加している。

### ▶▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和6年7月～9月期）の「減少」超7.4%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「減少」超5.9%と1.5ポイント減少超幅が縮小した。先行き（令和7年1月～3月期）は、「減少」超8.8%と施工高の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

## ▶▶ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移



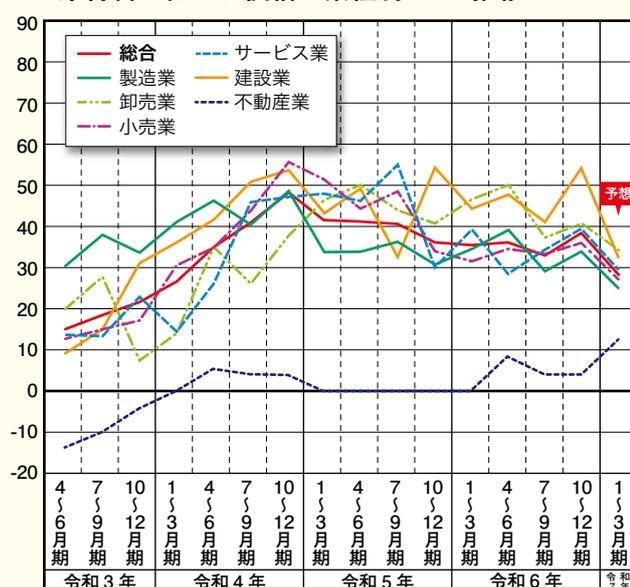
販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和6年7月～9月期）の「上昇」超11.1%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「上昇」超11.4%と0.3ポイント上昇超幅が拡大した。

業種別では、不動産業は下降超幅が拡大、卸売業、小売業、サービス業は上昇幅が縮小した一方、製造業は上昇幅が拡大、建設業は「上昇」超となった。

先行き（令和7年1月～3月期）は、業種全体で「上昇」超6.8%と販売・請負価格の上昇を見込まれている企業がやや減少している。

## ▶▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和6年7月～9月期）の「上昇」超32.7%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「上昇」超38.0%と5.3ポイント上昇超幅が拡大した。

先行き（令和7年1月～3月期）は、業種全体で「上昇」超27.8%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業が大幅に減少している。

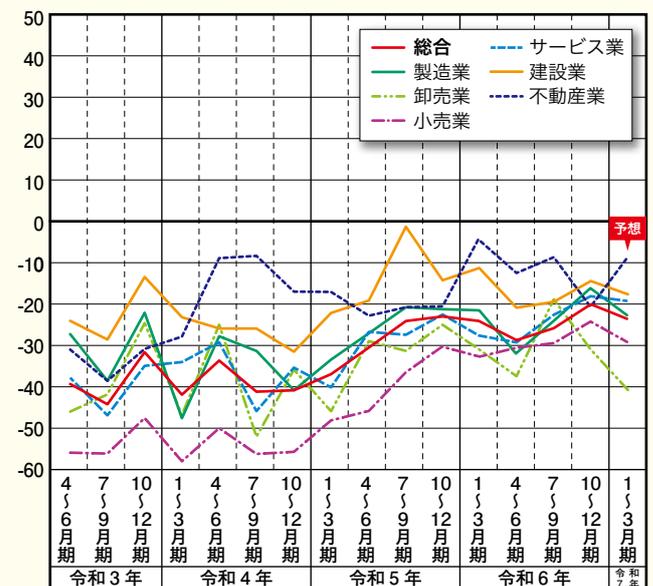
## ▶▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和6年7月～9月期）の「減少」超25.8%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「減少」超20.0%と5.8ポイント減少超幅が縮小した。

業種別に前回調査（令和6年7月～9月期）と今回調査（令和6年10月～12月期）を比較すると、卸売業、不動産業は減少超幅が拡大した一方、製造業、小売業、サービス業、建設業は減少幅が縮小した。

先行き（令和7年1月～3月期）は、業種全体で「減少」超23.5%と収益の減少を見込まれている企業がやや増加している。

収益の業種別 DI の推移



## ▶▶ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和6年7月～9月期）の「不足」超3.2%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、「不足」超1.9%と不足超幅が縮小した。

先行き（令和7年1月～3月期）は、建設業は不足超幅が縮小する一方で、小売業は「不足」超に転化、製造業、卸売業は不足超幅が拡大することから、業種全体で「不足」超2.2%と在庫の不足を見込まれている企業はほぼ横ばいとなっている

## ▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超17.7%となった。

先行き（令和7年1月～3月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超21.3%となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

## ▶ 金融機関借入れ状況

金融機関からの借入れ状況は、全体の86.8%の企業が「借入れしない」とした。

今後の借入れ予定についても、すべての業種で「借入れの予定なし」とした企業が「借入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の91.9%の企

業が「借入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和6年7月～9月期）の87.6%に対し、今回調査（令和6年10月～12月期）では、88.4%となり、借入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

## ▶ 設備の状況

設備の状況は、9割の企業（令和6年10月～12月期90.3%、令和7年1月～3月期予想91.4%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和6年10月～12月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超7.5%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

## 設備投資の実施・予定

上段：先数  
下段：比率（%）

業種	令和6年10月～12月期							令和7年1月～3月期							
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他
総合	3 0.8	9 2.3	9 2.3	6 1.5	13 3.3	0 0.0	349 89.8	1 0.3	8 2.1	6 1.6	3 0.8	9 2.3	1 0.3	359 92.6	
製造業	1 1.2	5 5.9	4 4.7	4 4.7	3 3.5	0 0.0	68 80.0	0 0.0	4 4.8	1 1.2	0 0.0	3 3.6	0 0.0	75 90.4	
卸売業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	0 0.0	30 93.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 100.0	
小売業	1 0.8	—	—	0 0.0	4 3.4	0 0.0	114 95.8	0 0.0	—	—	1 0.8	3 2.5	1 0.8	114 95.9	
サービス業	1 1.2	2 2.4	3 3.7	1 1.2	1 1.2	0 0.0	74 90.3	1 1.2	2 2.4	2 2.4	2 2.4	1 1.2	0 0.0	74 90.2	
建設業	0 0.0	2 2.8	2 2.8	0 0.0	4 5.6	0 0.0	63 88.8	0 0.0	2 2.8	3 4.2	0 0.0	2 2.8	0 0.0	64 90.2	

## 経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	183	31	20	53	40	31	8
同業者間の競争の激化	78	7	1	18	12	26	14
大手企業（大型店）との競争の激化	65	17	—	22	6	20	—
工場（店舗）・設備（機械）の狭小・老朽化	64	31	2	31	—	—	—
人手不足	62	5	8	21	24	3	1
利幅の縮小	45	1	1	3	1	38	1
取扱商品の陳腐化	37	—	2	6	29	—	—
その他	32	10	—	15	1	6	—
人件費の増加	28	2	13	6	1	—	6
販売商品（商品物件）の不足	27	—	—	24	—	—	3
代金回収の悪化	23	3	4	5	—	5	6
合理化の不足	21	14	2	—	—	5	—
その他	147	35	17	29	46	16	4
問題なし	11	4	1	1	4	—	1
合計	823	160	71	234	164	150	44

## 当面の重点経営施策（経営のポイント）

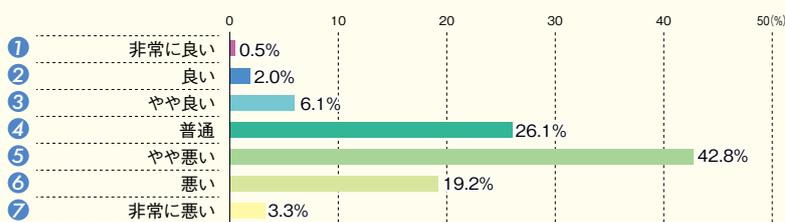
（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	215	44	23	61	41	39	7
販路を広げる	93	27	15	—	22	22	7
宣伝・広告を強化する	70	—	—	32	25	—	13
人材を確保する	53	15	—	10	14	14	—
情報力を強化する	43	11	6	—	—	18	8
品揃えを改善（充実）する	39	—	10	29	—	—	—
技術力を強化する（高める）	33	—	—	—	12	21	—
提携先を見つける	30	9	7	—	9	—	5
売れ筋商品を取り扱う	24	—	—	24	—	—	—
教育訓練を強化する	18	2	—	2	14	—	—
労働条件を改善する	13	7	—	—	3	3	—
商店街事業を活性化させる	12	—	—	12	—	—	—
その他	70	31	2	25	8	3	1
特になし	46	11	2	22	7	1	3
合計	759	157	65	217	155	121	44

## 特別調査「2025年（令和7年）の経営見通し」

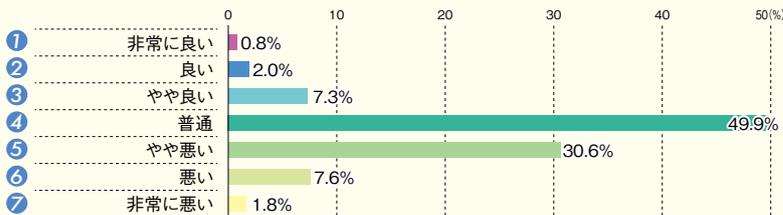
問1

貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



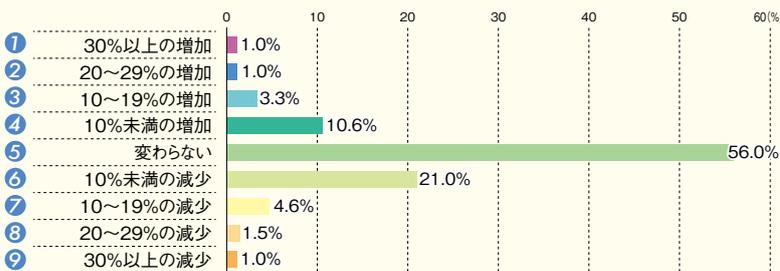
問2

貴社では、2025年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



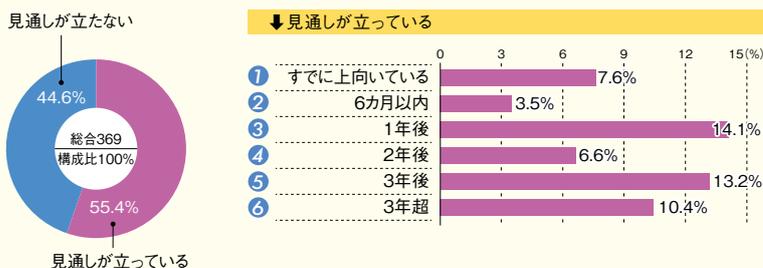
問3

2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



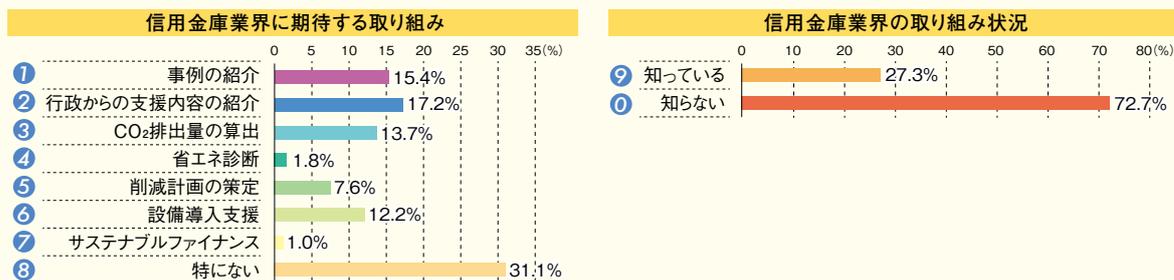
問4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問5

脱炭素化への取り組みについてお伺いします。貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取り組みはありますか。1~8の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素化に向けた取り組みを行っていることを知っていますか。9~0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



# 企業紹介

public relations

## (株) 荒川材木店



代表取締役社長 荒川 仁弥 (2代目)

住所: 〒979-0141

いわき市勿来町窪田道作33-1 (道作工場)

電話番号: 0246-65-0770

営業時間: 午前8時～午後5時

休日: 隔週土曜、日曜、祝日



当社は昭和5(1930)年の創業以来、いわき市勿来地区の企業として90年以上にわたり木材の製材・加工に携わってまいりました。良質な丸太を生産し、建築用材等の製材品を供給することで、地元の木を活用した住まいづくりのお手伝いをしています。また、ただ木材を切り出すだけでなく、地域の山づくりにも努めています。

平成23(2011)年3月に発生した東日本大震災において、工場施設の損壊や放射能の影響により厳しい状況に追い込まれた時期もありましたが、現在では、ほぼ通常の営業に戻っています。

木材の利用を促進することは、国土の保全や水源かん養等の多面的機能の発揮、地球温暖化防止などを担う森林の再生に寄与すると確信しております。

当社では、これからも地球の資源である「いわき産の木材」を積極的に活用し、地域経済の活性化と循環型社会の形成に貢献したいと考えております。



### 【編集室から】

林野庁によると、国内建築用材等の木材自給率は近年上昇を続け、令和5(2023)年には55%を超えました。これは製材用材の自給率が上昇したためで、輸入量の減少が大きな要因とされています。林業を巡っては、進む円安、国外の動向、国の政策などさまざまな状況が絡み合い、影響を及ぼしています。

そうした中、同社は地元で根ざして製材、小売りの木材販売を展開されています。「いわき産の材木」の利用にこだわり、国産材の消費量は年間3万2,000m<sup>3</sup>、製材分野ではいわき市内で最大を誇ります。製品は住宅をはじめさまざまな分野で使われており、「東京2020オリンピック競技大会」では選手村の建設にも使用されました。また、いわき市内を中心に計約100haの所有林があることも特徴です。令和4(2022)年には、いわき市の農林業賞に選ばれました。

道作工場に隣接する「いわき加工材センター」と協力して出荷する、JAS認定の大径材は、公共施設などの大型木造建築でも活用されています。

# 市内の 観光歴史めぐり



(所在地：いわき市勿来町窪田馬場)

## 國魂神社の梵鐘 (くにたまじんじゃのぼんしょう)

いわき市には、多くの観光歴史名所があります。「市内の観光歴史めぐり」として、國魂神社の梵鐘を紹介します。

梵鐘の銘文によると、最初の梵鐘は1521(大永元)年に領主で窪田山城主の平昌清が寄進し、1687(貞享4)年に赤津光寛が再び寄進しました。その後、約100年を経て、その鐘も破損したため、1781(天明元)年に法印義弁が願主となり、近村有志に寄付を求め、平の鋳物師・椎名浅右衛門義雅に造らせ寄進したと彫られています。

平梅香町で鋳物職を営んでいた椎名家の作品としては、平四ツ波の石森観音堂鰐口(市指定有形文化財)、川中子の旧成福院梵鐘(県指定重要文化財)、小名浜古湊の浄光院梵鐘(市指定有形文化財)に次ぐ作品で、当代の工芸水準を示す作品として評価され、1982(昭和57)年3月26日に市指定有形文化財に指定されました。

梵鐘のある國魂神社は、806(大同元)年に菊田の国造が出雲大社から勧請奉斎(かんじょうほうさい)され、大国主命(おおくにぬしのみこと)、須勢理姫命(すせりびめのみこと)、少彦名命(すくなひこのみこと)の三柱の神様を御祭神としてお祀りしており、事始め、厄除け、縁結び、安産などのご神徳があります。



▲國魂神社本殿



### column 向日葵

日本銀行福島支店が12月に公表した2024年12月分の福島県金融経済概況は、県内景気は、足踏みしている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、減少している。設備投資は、能力増強投資などがみられており、緩やかに持ち直している。公共投資は、基調としては減少していると公表されております。

一方、当金庫の景気動向調査(令和6年10月から12月期)では、いわき市全域の業況は、前回調査(令和6年7月から9月期)と比較し、4期振りに改善しておりますが、先行きは悪化する見通しとなっております。また、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きについてもすべての業種で「苦しい」超となっています。当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んで参ります。

発行/ひまわり信用金庫  
〒970-8026 いわき市平字二町目10  
編集/総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500  
☐ <http://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。